2026年２月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年７月４日

上場会社名　　株式会社ダイケン　　上場取引所　東
コード番号　　5900　　ＵＲＬ　https://daiken.ne.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）藤岡　洋一
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　（氏名）小林　勉　　ＴＥＬ　06-6392-5551

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年２月期第１四半期の業績（2025年３月１日～2025年５月31日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年２月期第１四半期	2,587	△0.5	△10	－	△4	－	1	△60.1
2025年２月期第１四半期	2,601	5.4	△2	－	3	△91.1	4	△79.3

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年２月期第１四半期	0.35	－
2025年２月期第１四半期	0.87	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年２月期第１四半期	15,685	13,090	83.5
2025年２月期	15,781	13,206	83.7

（参考）自己資本　2026年２月期第１四半期　13,090百万円　2025年２月期　13,206百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年２月期	－	0.00	－	20.00	20.00
2026年２月期	－				
2026年２月期（予想）		0.00	－	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2025年２月期期末配当金の内訳　記念配当　3円00銭

３．2026年２月期の業績予想（2025年３月１日～2026年２月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	5,600	6.5	80	56.0	110	38.0	70	10.5	12.77
通期	12,000	8.8	460	55.8	500	48.7	300	21.9	54.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年２月期１Ｑ	5,970,480株	2025年２月期	5,970,480株
②　期末自己株式数	2026年２月期１Ｑ	487,059株	2025年２月期	487,059株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年２月期１Ｑ	5,483,421株	2025年２月期１Ｑ	5,483,421株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１.経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期貸借対照表に関する注記） …… 7
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
（収益認識関係） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、円安傾向が続く為替相場の影響などにより、インバウンド消費の増加はみられましたが、物価高の影響から内需は力強さを欠いており、景気は持ち直しの動きはみられるものの、弱含みの状況で推移いたしました。また、米国の通商政策による世界経済の下振れリスクなど先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要な販売市場であります建設市場におきましては、建築物省エネ法や建築基準法の改正に伴う駆け込み需要から、３月に住宅需要が増加したものの、４月以降にその反動減が生じており、新設住宅着工戸数はおおむね横ばいの動きとなりました。また、企業による投資は、建設コスト上昇の圧力はあるものの、堅調な企業収益に支えられ、持ち直しの動きで推移いたしました。

一方で、材料価格や物流費などの物価高は続き、円安が続く為替相場の状況など、コスト面における経営環境は依然として厳しい情勢となりました。

このような中、当社では、開発、製造、販売で連携して、より付加価値の高い製品を提供していくことで、新たな市場の開拓に努めるとともに、強みのある製品の市場認知度を高め、需要の獲得に取り組んでまいりました。

調達コストへの対応につきましては、生産効率を向上させて原価低減に努めるとともに、価格改定による一定の効果がみられました。

以上の結果、当第１四半期累計期間の売上高につきましては、2,587百万円（前年同期比0.5%減）となりました。利益面では、前事業年度に実施した価格改定の影響から売上総利益率は改善したものの、システム更新などの一時費用や労務費増加の影響から販売費及び一般管理費が増加したため、10百万円の営業損失（前年同期は2百万円の営業損失）、4百万円の経常損失（前年同期は3百万円の経常利益）となりました。税効果会計の影響により、四半期純利益は1百万円（前年同期比60.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（セグメント売上高）：当第１四半期累計期間（自　2025年３月１日　至　2025年５月31日）

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)	構成比(%)
建築関連製品	2,546,234	99.5	98.4
不動産賃貸	41,578	96.1	1.6
合計	2,587,813	99.5	100.0

（建築関連製品）

建築関連製品につきましては、見積もり業務の集約化やＩＴ化によって、営業活動量の増加を図るとともに、引き続き多様な展示会へ出展して新製品を実際に触れる中で紹介していく機会を創出し、インターネット等も駆使し、主力製品のプロモーション強化に取り組んでおります。

エクステリア関連製品では、ゴミ収集庫や自転車ラックなどが、集合住宅における需要を得られ、堅調に推移いたしました。また、自転車ラックに関しましては、ストック市場での改修需要も獲得しております。

一方で、既存物件への宅配ボックスの需要が一巡したことで販売数が減少したほか、エネルギー需要の変化によりホームタンクの販売が伸び悩みました。

また、原価低減に努めるとともに価格改定の効果が生じたことで、原価率は改善したものの、労務費やシステム更新の一時費用が生じコストが増加いたしました。

その結果、売上高は2,546百万円（前年同期比0.5%減）、価格改定による効果は得られたものの、販売費及び一般管理費の増加も大きく、セグメント利益（営業利益）は前年同期とほぼ横ばいの69百万円となりました。

（不動産賃貸）

不動産賃貸関連につきましては、居住環境を整備し、収益に主力であるワンルームマンションの高稼働率を維持していくとともに、空室となったテナントの借主確保に努めてまいりました。

収益の主力でありますワンルームマンションでは、入居率を高い水準で維持できており、安定的な収益を確保することができました。

一方で、法人テナントでは、一部テナントが空室となったことにより大きく収益を減少させております。

また、不動産原価に関しましても、老朽化に伴う偶発的な修繕費などにより、増加いたしました。

その結果、売上高は41百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて95百万円減少し、15,685百万円となりました。これは、棚卸資産が137百万円、設備投資により有形固定資産が116百万円、前払費用等の増加により流動資産のその他が86百万円、それぞれ増加したものの、室蘭工場への設備投資に関する支出などから現金及び預金が296百万円、債権回収により売上債権が134百万円減少したことが主因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ20百万円増加し、2,594百万円となりました。これは、法人税等の支払により未払法人税等が101百万円、電子記録債務等の仕入債務が73百万円減少したものの、賞与引当金が68百万円、預り金等の増加により流動負債のその他が71百万円、未払費用が44百万円それぞれ増加したことが主因であります。

なお、純資産は、前事業年度末に比べ116百万円減少し、13,090百万円となりました。これは、配当金の支払い等により利益剰余金が107百万円減少したことが主因であります。

この結果、自己資本比率は83.5%となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月期の業績予想に関しましては、2025年４月４日に公表しております業績予想から変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年２月28日)	当第１四半期会計期間 (2025年５月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,593,026	3,296,953
受取手形	126,869	101,650
電子記録債権	2,312,781	2,464,640
売掛金	1,763,501	1,502,803
商品	9,261	5,552
製品	1,055,646	1,119,899
原材料	588,884	648,516
仕掛品	347,711	365,619
貯蔵品	55,406	55,184
その他	32,110	118,452
貸倒引当金	△79	△106
流動資産合計	9,885,120	9,679,166
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,473,849	1,455,158
機械及び装置（純額）	796,281	783,554
土地	2,023,018	2,023,018
その他（純額）	187,036	334,910
有形固定資産合計	4,480,187	4,596,642
無形固定資産	133,235	133,046
投資その他の資産		
投資有価証券	984,834	981,684
関係会社株式	20,000	20,000
長期貸付金	19,781	19,721
保険積立金	231,958	232,406
その他	56,155	52,766
貸倒引当金	△30,171	△30,111
投資その他の資産合計	1,282,558	1,276,467
固定資産合計	5,895,981	6,006,156
資産合計	15,781,101	15,685,322

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年２月28日)	当第１四半期会計期間 (2025年５月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	17,582	24,466
電子記録債務	1,007,566	934,383
買掛金	507,405	500,123
未払金	164,154	192,498
未払費用	144,932	188,938
未払法人税等	119,579	18,473
賞与引当金	197,098	265,458
役員賞与引当金	13,800	4,375
その他	131,411	203,146
流動負債合計	2,303,531	2,331,863
固定負債		
役員退職慰労引当金	105,050	108,275
繰延税金負債	77,150	65,068
その他	88,927	89,770
固定負債合計	271,127	263,113
負債合計	2,574,658	2,594,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,524	481,524
資本剰余金	250,398	250,398
利益剰余金	12,356,371	12,248,614
自己株式	△329,737	△329,737
株主資本合計	12,758,555	12,650,799
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	447,887	439,545
評価・換算差額等合計	447,887	439,545
純資産合計	13,206,443	13,090,344
負債純資産合計	15,781,101	15,685,322

（２）四半期損益計算書

（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 2024年３月１日 至 2024年５月31日）	当第１四半期累計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年５月31日）
売上高	2,601,700	2,587,813
売上原価	1,846,863	1,788,162
売上総利益	754,836	799,650
販売費及び一般管理費	757,087	810,532
営業損失（△）	△2,251	△10,881
営業外収益		
受取利息	2	162
受取配当金	1,637	4,004
受取保険金	1,758	128
その他	2,950	2,146
営業外収益合計	6,349	6,442
営業外費用		
支払利息	1	2
固定資産売却損	－	293
固定資産除却損	944	0
その他	－	42
営業外費用合計	945	339
経常利益又は経常損失（△）	3,152	△4,778
特別利益		
固定資産売却益	5,767	－
会員権売却益	1,068	－
特別利益合計	6,835	－
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	9,988	△4,778
法人税、住民税及び事業税	11,891	9,826
法人税等調整額	△6,694	△16,516
法人税等合計	5,196	△6,690
四半期純利益	4,792	1,911

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第１四半期累計期間（自　2024年３月１日　至　2024年５月31日）

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年５月30日定時株主総会	普通株式	82,251	15.00	2024年２月29日	2024年５月31日	利益剰余金

２．基準日が当第１四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第１四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第１四半期累計期間（自　2025年３月１日　至　2025年５月31日）

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年５月29日定時株主総会	普通株式	109,668	20.00	2025年２月28日	2025年５月30日	利益剰余金

２．基準日が当第１四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第１四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

（四半期貸借対照表に関する注記）

四半期会計期間末日満期手形については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第１四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理をしております。

	前事業年度（2025年２月28日）	当第１四半期会計期間（2025年５月31日）
受取手形	－	3,880千円
電子記録債権	－	96,789千円

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間（自　2024年３月１日　至　2024年５月31日）	当第１四半期累計期間（自　2025年３月１日　至　2025年５月31日）
減価償却費	90,139千円	89,918千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期累計期間（自　2024年３月１日　至　2024年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額(注)２
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,558,449	43,250	2,601,700	－	2,601,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,558,449	43,250	2,601,700	－	2,601,700
セグメント利益	69,463	24,454	93,918	△96,169	△2,251

（注）１．セグメント利益の調整額△96,169千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期累計期間（自　2025年３月１日　至　2025年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額(注)２
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,546,234	41,578	2,587,813	－	2,587,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,546,234	41,578	2,587,813	－	2,587,813
セグメント利益	69,441	21,957	91,398	△102,280	△10,881

（注）１．セグメント利益の調整額△102,280千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第１四半期累計期間（自　2024年３月１日　至　2024年５月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	建築関連製品	不動産賃貸	
金物	805,885	－	805,885
建材	442,673	－	442,673
エクステリア	860,189	－	860,189
その他	449,700	－	449,700
顧客との契約から生じる収益	2,558,449	－	2,558,449
その他の収益	－	43,250	43,250
外部顧客への売上高	2,558,449	43,250	2,601,700

（注）「その他の収益」は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収入等であります。

当第１四半期累計期間（自　2025年３月１日　至　2025年５月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	建築関連製品	不動産賃貸	
金物	779,192	－	779,192
建材	455,177	－	455,177
エクステリア	874,851	－	874,851
その他	437,013	－	437,013
顧客との契約から生じる収益	2,546,234	－	2,546,234
その他の収益	－	41,578	41,578
外部顧客への売上高	2,546,234	41,578	2,587,813

（注）「その他の収益」は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収入等であります。